

告示	番号	21	内分泌疾患
	疾病名	卵巣形成不全	

卵巣形成不全

らんそうけいせいふぜん

概念・定義

本疾患は卵巣の発生・分化過程の障害により機能異常を来した状態と定義される。

症状

女性ホルモンと黄体ホルモンの分泌障害と卵子形成障害が主となる。重症例では、女性の思春期の発来遅延で発見される。具体的には乳房、陰毛の発育不良、原発性ないし続発性無月経である。軽症例では、思春期は自然発来するが、成人期に不妊症、早発閉経で発見される。

その他、性分化以外の随伴症状としては、Blepharophimosis-ptosis-epicanthus inversus syndrome (BPES)I 型 (FOXL2 異常症) では眼裂狭小、WNT4 異常症では多毛と子宮低形成ないし無形成が認められる

治療

思春期年齢に女性ホルモンや黄体ホルモンの補充療法を行う

抜粋元：http://www.shouman.jp/details/5_30_64.html